【施策】 1市民と連携し火災を予防する

2001 火災の予防対策をつくる 【基本計画区分】 404【担当課】 6002000 予防課

【目的】

【基本事務事業】

市民と連携して火災を出さない環境をつくる とともに、火災が発生しても拡大させない環 境をつくる 【背景】

トスシー 火災の原因である「放火」は、家のまわりの燃えやすいものなどの放置 に起因することが多く、また「たばこ」「こんろ」など、うっかり火災も後を 絶たない。

コード 配下事務事業名

200101 火災原因究明事業 200102 火災警戒・警備事業 【担当部課評価】: 最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持

人口が増加する中、これ以上の火災の出火率の低下は全 国的なレベルで比較しても妥当な数字と思われるので現 状維持が適当と思われる。

【今後の課題】

人口が増加する中、火災の出火率の低下は全国的なレベルで比較しても妥当な数字と思われるので現状維持が適当と思われる。

【重要性】

火災発生率を減らすには、火災の原因を分析し、発生危険要素を除去することが必要である

【現状分析】

出火率は、年々低下しており、市民の防火意識の高揚と火災の発生しにくい社会環境つくりが出来た。

【指標】 上段:予算目標 下段:実績 [H15] [H16] [H17] [H18] [H19] 過去5年間の最低出火率を 3.43.43.4 3.43.4 めざす 3.1 3.2 3.5 2.8 2.6 (件) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

【節】 安全で快適な生活環境の実現

【項】 安全で安心な地域環境づくり

【政策】 【基本事務事業】		市民を火災から守る 火災の予防対策をつく	3		_	施策】 3当課:	1 6002000		連携し火災を	予防する				
【事務事業】	200101	火災原因究明事業			Ŧ	防課			会計区分	一般会計	計画区分	計画事業	404 戦略区分	} –
【目的】		【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
火災の原因・損害を究 災予防思想の普及や警		168件火災発生(%)	松戸市の火災と救急救助パンフレット5,000部作	100	100	100	100	100	計画額	555	464	470	446	452
災予防忠想の晋及や警 の向上を図る。	的対策		成任宅用火災警報器設置促進パンプレット40,0 00部作成防火防災指導796件ひとり暮らし高齢	100	100	100	100	100	(一般財源)	555	464	470	446	452
1,7=2,130			者防火診断292訪問						予算額	555	464	470	406	886
			¦	0	0	0	0	0	(一般財源)	555	464	470	406	886
		U		0	0	0	0	0	決算額	358	373	458	401	863
				U	U	0	U	U	職員数	7.23	7.23	7.23	7.23	7.23
									単位)事業	費:千円	職員数:人			
	j	()		0	0	0	0	0		調査を実施する				
【対象】				0	0	0	0	0		が外がでない。				
市民(市内居住者)				【指標值	直】上段:	予算目標	票 下段:	実績						

【定量分析】:課題:現状分析

火災原因の調査を市民指導に活用し、パンフレットの作成を図った。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

引き続き、火災原因の調査を市民指導に活用し、パンフレットの作成を図る。

【計画事業】

【計画事業名】火災予防,防火査察対策事業

【節項コード】 404 【節名】安全で快適な生活環境の実現

【項名】安全で安心な地域環境づくり

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	1 うっかり火災の原因別対策分析と 市民向けパンフレットの作成2 放火 防止対策の分析と市民向けパンフ レットの作成	1 うつかり火災の原因別対策分析と 市民向け視聴覚資器材の作成2 放 火火災防止対策市民向け視聴覚資 器材の作成	1 うっかり火災0をめざし災害弱者宅の住宅防火(ひとり暮らし高齢者)を促進2 放火火災多発地域に重点を出てた放火させない・放火されない環境づくりの促進	1 うっかり火災0をめざし災害弱者 (障害者等)の住宅防火を促進2 放 火防止対策市民向けパンフレットの 作成	1 うっかり火災の上位原因別対策の 徹底広報2 放火火災多発地域に 放火防止推進委員会設置促進
実績	2, 000部パンフレット作成	2,000部パンフレット作成出前講座	2,000部パンフレットの作成40,00 0部パンフレット作成出前講座	2,000部パンフレットの作成	5, 000部パンフレットの作成

【政策】	20	市民を火災から守る			[:	施策】	1	市民と	:連携し火災	を予防する				
【基本事務事業】	2001	火災の予防対策をつく	3		担	3当課:	6002500							
【事務事業】	200102	火災警戒·警備事業			消	肖防救急	課		会計区	区分 一般会計	計画区分	一般事業	404 戦略区	分 —
【目的】		【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
各種催事、年末年始等	におけ	警戒区域内の火災等発生	10件-当年火災発生件数	10	10	10	10	10	計画額	0	0	0	0	0
る事故、災害等の防止	1	件数(件)		7	9	9	3	9	(一般財源)	0	0	0	0	0
	i	i !							予算額	0	0	0	0	0
	 		<u></u>	0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
	 	U		0	0	0	0	0	決算額	0	0	0	0	0
	i I			U	Ü	U	U	U	職員数	17.46		17.46	17.46	17.46
	i										職員数:人			
	!	()		0	0	0	0	0		公戸花火大会消防 E末年始火災特別				
【対象】	,			0	0	0	0	0	基	葛飾納涼花火大会	警備を実施する			
市民(通勤・通学者を含	sto)			【指標作	直】上段:	予算目標	票 下段:	実績	19	崔事警備(各種イベ	ベント)を実施する	3		
		【定量分析】:課題・現状 各種催事、年末年始等にお	式分析 おける事故、災害等の防止を図ることを目的とし、市民	と連携し火	災等を予	坊した。				五】: 最終結果・説 大災が発生しても被				

【施策】 1 市民と連携し火災を予防する 【節】 安全で快適な生活環境の実現

【項】 安全で安心な地域環境づくり

【基本計画区分】 404【担当課】 6002000 予防課

【目的】

【基本事務事業】

市民と連携して火災を出さない環境をつくる とともに、火災が発生しても拡大させない環 境をつくる

【背景】

2002 事業所からの火災発生を防ぐ

を名が多数発生するなど社会的影響の大きい火災は、防火意識が低く防火戸、その他消防用設備の不備により火災が拡大し、死者が発生している。

配下事務事業名

200201 事業所火災発生防止事業

【担当部課評価】: 最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持 事業所の防火に対する意識の温度差を少なくし、引き続き 防火意識の向上、消防設備の設置及び維持管理につい

て指導する。

【今後の課題】

事業所の防火に対する意識の温度差を少なくし、引き続き防火意識 の向上、消防設備の設置及び維持管理について指導する。

【重要性】

火災拡大の要因は、消防用設備の不備によ るものが多い。

【現状分析】

社会経済及び事業所の防火に対する意識の向上は、各事業所に温 度差はあるももの少しづつではあるが、向上している。

【指標】 上段:予算目標 下段:実績 [H15] [H16] [H17] [H18] [H19] 事業所の出火率 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 0.6 0.6 0.4 0.3 0.3 (%) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

【政策】 20 市民を火災から守る 【施策】 1 市民と連携し火災を予防する 6002000 【基本事務事業】 2002 事業所からの火災発生を防ぐ 担当課: 【事務事業】 予防課 会計区分 一般会計 計画区分 計画事業 200201 事業所火災発生防止事業 404 戦略区分 成長 【指標】 【目的】 【指標概要】 [H15] [H16] [H18] [H19] 【事業費】 [H17] [H15] [H16] [H17] [H18] [H19] 100 計画額 272 1,025 1,018 625 火災予防査察を実施し、法令 防火対象物査察件数 610 4,211件(%) 100 100 100 100 適合及び消防用設備等の維持 管理について指導する。 100 (一般財源) 272 1,025 1,018 625 610 100 100 100 100 予算額 272 1,025 1,059 610 600 (一般財源) 272 1.025 1.059 610 600 208件(%) 危険物施設査察件数 100 100 100 100 100 決算額 890 1,132 1,058 601 599 100 100 100 100 100 職員数 33.76 33.76 33.76 33.76 33.76 単位) 事業費:千円 職員数:人 60【業務】 建築物等の指導をする 是正率62.5パーセント 是正数1,457/通知書交付数2,332 54 56 58 52 危険物等の指導をする 【対象】 69.3 63.4 62.2 58.9 52.8 査察対象物の安全維持管理を指導す 建築物等の関係者 危険物事 業所の関係者 事業者 【指標值】上段:予算目標 下段:実績

【定量分析】:課題:現状分析

【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性

火災予防査察を実施することにより、法令遵守、防火管理の充実及び消防用設備の適正な維持管理を徹底することができた。

今後も引き続き、事業所及び危険物施設等の火災予防査察を実施し、法令適合違反の是正及び火災危険要素の排除を厳しく指導いたします。

【計画事業】

【計画事業名】火災予防・防火査察対策事業(一部)

【節項コード】 404 【節名】安全で快適な生活環境の実現

【項名】安全で安心な地域環境づくり

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	察の強化(2)違反是正の強化2 予防業務専門職の確立(1)火災原	察の強化(2)違反是正の強化2 予防業務専門職の確立(1)火災原	1 予防執行体制の充実強化(1)査 察の強化(2)違反是正の強化2 予防業務専門職の確立(1)火災原 因調査(2)違反処理	1 予防執行体制の充実強化(1)査 察の強化(2)違反是正の強化2 予防業務専門職の確立(1)火災原 因調査(2)違反処理	1 予防執行体制の充実強化(1)査 察の強化(2)違反是正の強化2 予防業務専門職の確立(1)火災原 因調査(2)違反処理
実績	通知書交付数1,497件防火管理 講習会3回屋内消火栓操法大会1	通知書交付数2,037件防火管理 講講習会3回屋内消火栓操作大会	通知書交付数2,332件防火管理者 講習会4回屋内消火栓操法大会1	通知書交付数2,886件防火管理者 講習会5回屋内消火栓操法大会1	通知書交付数2,465件防火管理者 講習会5回屋内消火栓操法大会1

【施策】 1 市民と連携し火災を予防する

2003 火災が発生しても自ら被害を最小限に食い止める環境をつくる

【節】 安全で快適な生活環境の実現 【項】 安全で安心な地域環境づくり

【基本計画区分】 404【担当課】 6002000 予防課

【目的】

【基本事務事業】

市民と連携して火災を出さない環境をつくる とともに、火災が発生しても拡大させない環 境をつくる

【背景】

統計的にも、消防隊が現場到着するまでの時間に初期消火があった 場合、被害を最小限に抑えることができている。

コード 配下事務事業名

200301 市民防火協力体制確立事業

【担当部課評価】: 最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持 防火・防災意識の低下を防ぐため今後も継続的な自衛意 識の向上を図る。

【今後の課題】

防火・防災意識の低下を防ぐため今後も継続的な自衛意識の向上を

【重要性】

【政策】

【基本事務事業】

【事務事業】

自分たちの街、自分たちの企業は自分たち で守るという自衛意識の向上を図る。

【現状分析】

建物全焼火災が少ない傾向であったため損害額の減少傾向にあっ

【指標】 上段:予算目標 下段:実績

過去5年間の最低損害額を めざす (百万円

[H15] [H16] [H17] [H18] [H19] 246.1 246.1 246.1 246.1 246.1 174.8 342.1 282.7 113 157.5

0 0 0 0 0

1 市民と連携し火災を予防する

0

20 市民を火災から守る 2003 火災が発生しても自ら被害を最小限に食い止める環境をつくる

200301 市民防火協力体制確立事業

担当課: 6002000 予防課

【施策】

【指標值】上段:予算目標 下段:実績

0

会計区分	一般会計	計画区分	一般事業	404	戦略区分	回避

0

0

									70.12.11.1		70.4 71.4		
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
住民・事業所・外郭団体の火災	初期消火成功率(%)	69初期消火のみで消火した火災/火災件数	68	69	70	71	72	計画額	3,698	2,830	2,858	2,823	2,817
対応力を高めるため、指導育 成する。			74.1	67.3	65.7	74.2	71.8	(一般財源)	3,698	2,830	2,858	2,823	2,817
PA / 00			İ					予算額	3,698	2,830	2,823	2,817	2,851
	i.			0	0	0	0	(一般財源)	3,698	2,830	2,823	2,817	2,851
	U		0	0	0	0	0	決算額	4,456	3,377	2,465	2,568	2,838
			0	0	0	0	0	職員数	5.52	5.52	5.52	5.52	5.52
	 							単位)事業	巻費:千円	職員数:人			
	()		0	0	0	0	0		消火栓操法指				
【対象】			0	0	0	0	0		物安全協会等 協会補助金	補助金			

【对家】

市民、事業者、外郭団体

【定量分析】:課題:現状分析

屋内消火栓操法大会の開催することにより、事業所が初期消火の重要性及びその効果を十分に参加者へ指導することができ、事業所からの出火を軽減することができた。また、防火協会、危険物安全協会、幼少年女性防火委員会等の外郭団体を支援することによる防火防災意識の向上を図ることができた。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

幼少年女性防火委員会補助金

火災予防運動推進業務

今後も引き続き、訓練等を通じ事業所及び外郭団体への防火思想の啓蒙を実施します。

【施策】 2 火災を拡大させない消防体制を確立する

【基本事務事業】 2004 都市の発展に応じて消防署を適正に配置する 【節】 安全で快適な生活環境の実現 【項】 安全で安心な地域環境づくり

404【担当課】 6001000 消防局企画管理室 【基本計画区分】

【目的】

焼死者ゼロをめざすために、ひとたび火災が 発生しても迅速的確な消防活動により、火災 を拡大させない体制を確立する

【背景】

開発、道路整備により都市形態も変化していくが、市民ニーズに応え るためには市域を想定した目標設定が必要である。

コード 配下事務事業名 200401 遠隔地解消事業

200402 消防本部応援体制確立事業

【担当部課評価】: 最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持 消防力の整備指針に基づき、社会情勢や地域の実情等を 考慮した上で消防力の整備目標を策定する必要がある。

【今後の課題】

既存消防署の検証

【重要性】

消防署の適正配置により、市内全域に対し 通報から放水開始までの所要時間を目標設 定することで災害への迅速性が図れる。

【現状分析】

消防力の整備指針に基づき、署所等の適正配置における検討は今 後も必要であるが、職員個々や小隊単位の技術向上により、放水開 始までの時間短縮がなされている。

【指標】 上段:予算目標 下段:実績 [H15] [H16] [H17] [H18] [H19] 出場から放水開始まで6.5 6.56.56.56.56.5分 6.35.8 5.3 5.3 4.8 (分) 0 0 0 0 0 0 0 0 0

【政策】 20 市民を火災から守る 【施策】 2 火災を拡大させない消防体制を確立する

【基本事務事業】 2004 都市の発展に応じて消防署を適正に配置する

[車茲車業] 200401 清陽州級消車業 担当課: 6001000 消防昌公面管理室

全計区分 一般全計 計画区分 一般事業

【争份争未】 20040	1 选附地胜用争未				11	刊列证	四官 垤至	1	云引区刀	双云司	引回区力	似尹未	404 戦略区	л –
【目的】	【指標】	【指標概要】		[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
災害への活動開始時間の短縮	調査率(%)	調査数/調査項目	į	100	100	100	100	100	計画額	0	0	0	0	0
を図るため調査分析する。			İ	100	100	100	100	100	(一般財源)	0	0	0	0	0
			 						予算額	0	0	0	0	0
	\		 :						(一般財源)	0	0	0	0	0
	()		i	0	0	0	0	0	決算額	0	0	0	0	0
			 	0	0	0	0	0	職員数	38.45	38.45	38.45	38.45	38.45
	 	<u> </u>							単位)事業	費:千円	職員数:人			
	()		1	0	0	0	0	0		道路計画等を		_		
【対象】			 	0	0	0	0	0	災害和	重別ごとの発生	生場所を分析す	-る		
被災者	 			『 +ヒ +冊 /:	± 1 L ER	マ쓴ㅁ#	π επ	中⁄主						

【指標値】上段:予算目標 下段:実績

【定量分析】:課題・現状分析

消防署の適正配置により松戸市全域をカバーする消防体制を構築するための事業として、都市計画の発展に応じて消防署 の適正配置を今後も実施する。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

今後も、社会情勢や地域の実情を考慮した上で、消防力の整備指針に基づいた消防力の整備 が必要である。

	0 市民を火災から守る4 都市の発展に応じて消	防署を適正に配置する		_	施策】 旦当課:	2 6002500		を拡大させない	消防体制を研	雀立する			
【事務事業】 200402	2 消防本部応援体制確立	工事業		Ŷ	肖防救急	課		会計区分) 一般会計	計画区分	一般事業	404 戦略区	分 —
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
相互応援体制の確立1緊急消	応援派遣要請を受けた回	応援派遣要請を受け派遣した実績数値	66	66	66	66	66	計画額	0	0	4,000	0	0
防援助隊の派遣及び受援体制 を確立する。2千葉県消防広	数(件)		131	136	131	58	47	(一般財源)	0	0	2,200	0	0
域応援及び受援体制を確立す								予算額	0	0	4,000	0	0
ఏ .	,					0	0	(一般財源)	0	0	2,200	0	0
	応援を受けた回数(件)	応援を受けた実績値	0	0	0	0	0	決算額	0	0	3,990	0	500
			0	0	0	0	0	職員数	28.29	28.29	28.29	28.29	28.29
	 		!					単位)事業	Ě費:千円	職員数:人			
	()		0	0	0	0	0	【業務】 災害	序対策応援業務	į			
【対象】			0	0	0	0	0						
被災者・消防職員・応援に来た 部隊				値】上段	:予算目標	票 下段:	実績						
	【定景公析】: 理期。 租业	·사도					7 15	7 .12 ±0==== /== 7			: ^ &^+	d	

【定量分析】:課題・現状分析

救急の応援出場については減少傾向にある。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

緊急消防援助隊・千葉県消防広域応援体制を確立し、また隣接6都市との相互応援が滞り無く 行われた。 2005 消防施設の機能を強化する

【政策】 20 市民を火災から守る

【施策】 2 火災を拡大させない消防体制を確立する 【節】 安全で快適な生活環境の実現 【項】 安全で安心な地域環境づくり

> 404【担当課】 6001000 消防局企画管理室 【基本計画区分】

【目的】

【基本事務事業】

焼死者ゼロをめざすために、ひとたび火災が 発生しても迅速的確な消防活動により、火災 を拡大させない体制を確立する

【背景】

阪神淡路大震災から耐震基準が見直された

コード 配下事務事業名 200501 中央消防署建設事業 200502 小金消防署建設事業

200503 消防施設管理事業 200504 消防団施設整備事業 【担当部課評価】: 最終結果・課題の解決策・今後の方向性 事業縮小

本事業において消防センターの改築における候補地の調 査及び用地の確保が最重要課題とし、今後も本事業を継 続すべき事業と捉えます。

【今後の課題】

施設維持管理の徹底、委託形態の見直し

【重要性】

災害対応の拠点である消防施設が倒壊、損 壊した場合、広域な災害対応が図れない

【現状分析】

消防署の建設事業における建設用地の確保等の諸問題を解決する 必要性が、本事業においては一つの課題となる。

【指標】上段:予算目標 下段:実績 [H15] [H16] [H17] [H18] [H19] 耐震基準適合率 100 100 100 100 100 100 100 100 (%) 0 0 0 0

0 0 0

0

【政策】 20 市民を火災から守る

【基本事務事業】 2005 消防施設の機能を強化する

【事務事業】

【指標】

200501 中央消防署建設事業

担当課: 6001000 消防局企画管理室

[H15] [H16] [H17] [H18] [H19] 【事業費】

【施策】

会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 404 戦略区分 -

[H16]

[H17]

[H18]

[H19]

0

100

0

0

0

【目的】 大規模災害時等における危機 管理体制の確立及び耐震性の 向上を図るため、方面本部機 能を充実させる

【対象】

被災者

計画策定数(建設・移転) (件)	中央消防署の建設計画を策定する
0	
()	

【指標概要】

0	0	1	0	0	計画額	0	0	0	0
0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0
					予算額	0	0	0	0
0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0
0	0	0	0	0	決算額	0	0	0	0
0	0	0	0	0	職員数	0.1	0.1	0.1	0.1
					単位) 事業費:	千円 職員	数:人		
0	0	0	0	•		を確保する 案を策定する			

[H15]

2 火災を拡大させない消防体制を確立する

【指標値】上段:予算目標 下段:実績

【定量分析】:課題・現状分析

中央消防署の実態調査及び消防署の適正配置を検討を実施するも、より優先すべき消防署建設事業があるため、本事業は 差し控える形をとった。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

基幹消防署機能を検証する

調査検討の結果、中央消防署の建設事業は、今後実施しなくてはならない事業ではあるが他の消防署(小金消防署)の建設事業を最優先とします。

0

【政策】	20	市民を火災から守る			[]	施策】	2	火災を	を拡大させない	消防体制を研	雀立する			
基本事務事業】	2005	消防施設の機能を強	化する		担	当課:	6001000							
事務事業】	200502	小金消防署建設事業	<u>t</u>		消	j防局企i	画管理室		会計区分	一般会計	計画区分 -	一般事業	404 戦略区:	分 —
目的】		【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
大規模災害時等にお 管理体制の確立及び	ける危機	計画策定数(建設・移転)	小金消防署の建設計画を策定する	0	0	1	0	0	計画額	0	0	0	0	
管理体制の確立及び 句上を図るため、方面	耐震性の	(件)		0	0	0	0	0	<i>(一般財源)</i>	0	0	0	0	
を充実させる	NA TINK								予算額	0	0	0	0	
					0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	
		U		0	0	0	0	0	決算額	0	0	0	0	
				U	U	Ü	U	U	職員数	0.1	0.1 職員数:人	0.1	0.1	0
		()	'	0	0	0	0	0	【業務】 建設	用地を確保す 設計案を策定	る			
【対象】	,			0	0	0	0	0		:政司系を尿足:消防署機能を				
被災者				【指標	直】上段:	予算目標	票 下段:	実績						
		【定量分析】:課題・現 小金消防署の実態調査 確となった。	2 大分析 及び消防署の適正配置を検討を実施し、次年度に	おいても本事業	を継続する	べき事業で	ごあることが	明 本語		: 最終結果・ 認 を基に、今後の		いいきます。		
政策】 基本事務事業】	20 2005	小金消防署の実態調査 確となった。 市民を火災から守る 消防施設の機能を強	及び消防署の適正配置を検討を実施し、次年度に	おいても本事業	【/j 担	施策】 ^担 当課:	2 6001000	火災を	事業の実施結果を拡大させない	を基に、今後の消防体制を確認しています。	事業を策定し反			
政策】 基本事務事業】 事務事業】	20	小金消防署の実態調査 確となった。 市民を火災から守る 消防施設の機能を強 消防施設管理事業	及び消防署の適正配置を検討を実施し、次年度に 化する		【/ 担 消	施策】 3 当課 : 4防局企同	2 6001000 画管理室	火災を	事業の実施結果 を拡大させない 会計区分	を基に、今後の 消防体制を研 ・ 一般会計	事業を策定し反 を立する	一般事業	404 戦略区:	
政策】 基本事務事業】 事務事業】 目的】	20 2005 200503	小金消防署の実態調査 確となった。 市民を火災から守る 消防施設の機能を強 消防施設管理事業 【指標】	及び消防署の適正配置を検討を実施し、次年度に 化する 【指標概要】	[H15]	【; 担 消 [H16]	施策】 3当課: 防局企 [H17]	2 6001000 画管理室 [H18]	火災を [H19]	事業の実施結果 を拡大させない 会計区分 【事業費】	を基に、今後の 消防体制を確 、一般会計 [H15]	事業を策定し反 在立する 計画区分 - [H16]	一般事業 [H17]	404 戦略区: [H18]	[H19]
政策】 基本事務事業】 事務事業】 目的】 (書活動を迅速化す	20 2005 200503 るため、	小金消防署の実態調査 確となった。 市民を火災から守る 消防施設の機能を強 消防施設管理事業	及び消防署の適正配置を検討を実施し、次年度に 化する	[H15]	【扩 担 注 [H16]	施策】 3当課: 前防局企同 [H17] 100	2 6001000 画管理室 [H18] 100	火災を [H19]	事業の実施結果 を拡大させない 会計区分 【事業費】 計画額	を基に、今後の 消防体制を確 、一般会計 [H15] 324,413	事業を策定し反 在立する 計画区分 - [H16] 343,139	一般事業 [H17] 319,548	404 戦略区: [H18] 301,452	[H19] 304,94
政策】 基本事務事業】 事務事業】 目的】 (等活動を迅速化す	20 2005 200503 るため、	小金消防署の実態調査 確となった。 市民を火災から守る 消防施設の機能を強 消防施設管理事業 【指標】	及び消防署の適正配置を検討を実施し、次年度に 化する 【指標概要】	[H15]	【; 担 消 [H16]	施策】 3当課: 防局企 [H17]	2 6001000 画管理室 [H18]	火災を [H19]	事業の実施結果 を拡大させない 会計区分 【事業費】 計画額 (一般財源)	を基に、今後の 消防体制を码 ・ 一般会計 [H15] 324,413 323,574	事業を策定し反 在立する 計画区分 - [H16] 343,139 343,139	一般事業 [H17] 319,548 <i>317,249</i>	404 戦略区: [H18] 301,452 299,938	[H19] 304,94 <i>304,14</i>
政策】 基本事務事業】 事務事業】 目的】 (書活動を迅速化す	20 2005 200503 るため、	小金消防署の実態調査 確となった。 市民を火災から守る 消防施設の機能を強 消防施設管理事業 【指標】	及び消防署の適正配置を検討を実施し、次年度に 化する 【指標概要】	[H15]	【扩 担 注 [H16]	施策】 3当課: 前防局企同 [H17] 100	2 6001000 画管理室 [H18] 100	火災を [H19]	事業の実施結果 を拡大させない 会計区分 【事業費】 計画額 (一般財源) 予算額	を基に、今後の 消防体制を码 ・一般会計 [H15] 324,413 323,574 324,413	本立する 計画区分 - [H16] 343,139 343,139 343,139	一般事業 [H17] 319,548 <i>317,249</i> 317,939	404 戦略区: [H18] 301,452 299,938 303,756	[H19] 304,94 <i>304,14</i> 306,06
政策】 基本事務事業】 事務事業】 目的】 (書活動を迅速化す	20 2005 200503 るため、	小金消防署の実態調査 確となった。 市民を火災から守る 消防施設の機能を強 消防施設管理事業 【指標】	及び消防署の適正配置を検討を実施し、次年度に 化する 【指標概要】	[H15]	【扩 担 注 [H16]	施策】 3当課: 前防局企同 [H17] 100	2 6001000 画管理室 [H18] 100	火災を [H19]	事業の実施結果 を拡大させない 会計区分 【事業費】 計画額 (一般財源) 予算額 (一般財源)	を基に、今後の 消防体制を研 一般会計 [H15] 324,413 323,574 324,413 323,574	事業を策定し反 能立する 計画区分 - [H16] 343,139 343,139 343,139 343,139	一般事業 [H17] 319,548 317,249 317,939 315,640	404 戦略区: [H18] 301,452 299,938 303,756 302,957	[H19] 304,94 304,14 306,06 305,26
政策】 基本事務事業】 事務事業】 目的】 (書活動を迅速化す	20 2005 200503 るため、	小金消防署の実態調査 確となった。 市民を火災から守る 消防施設の機能を強 消防施設管理事業 【指標】 維持管理率(%)	及び消防署の適正配置を検討を実施し、次年度に 化する 【指標概要】	[H15] 66 66	【分 推 作 [H16] 100 100	施策】 3当課: 均防局企[[H17] 100 100	2 6001000 画管理室 [H18] 100 100	火災を [H19] 100 100	事業の実施結果 を拡大させない 会計区分 【事業費】 計画額 (一般財源) 予算額 (一般財源) 決算額	を基に、今後の 消防体制を研 一般会計 [H15] 324,413 323,574 324,413 323,574 320,755	本立する 計画区分 - [H16] 343,139 343,139 343,139 343,139 337,774	一般事業 [H17] 319,548 <i>317,249</i> 317,939	404 戦略区: [H18] 301,452 299,938 303,756	[H19] 304,94 304,14 306,06: 305,26 310,10
政策】 基本事務事業】 事務事業】 目的】 (書活動を迅速化す	20 2005 200503 るため、	小金消防署の実態調査 確となった。 市民を火災から守る 消防施設の機能を強 消防施設管理事業 【指標】 維持管理率(%)	及び消防署の適正配置を検討を実施し、次年度に 化する 【指標概要】	[H15] 66 66	【扩 推 译 [H16] 100 100	施策】 3当課: 指防局企[[H17] 100 100	2 6001000 画管理室 [H18] 100 100	火災を [H19] 100 100	事業の実施結果 を拡大させない 会計費 計一般射額 (一般射額 (一般射額 (一般射額 (一般射額 、大美量 (一般射額 (一般射額 、大美量 (一般射額 、大美量 (一般射額 、大美量 (一般類額 、大美量 (一般類額 、大美量 (一般類額 、大美量 (一般類額 、大美量 (一般類額 、大美量 (一般類額 、大美量 (一般類額 、大美量 (一般類額 、大美量 (一般類額 、大美量 (一般類額 、大美量 (一般類額 、大美量 (一般類額 、大美量 (一般類額 、大美量 (一般) (一成) (一) (一) (一) (一) (一) (一) (一) (一	を基に、今後の 消防体制を研 一般会計 [H15] 324,413 323,574 324,413 323,574	本立する 計画区分 - [H16] 343,139 343,139 343,139 343,139 337,774	一般事業 [H17] 319,548 317,249 317,939 315,640 316,115	404 戦略区: [H18] 301,452 299,938 303,756 302,957 306,865	[H19] 304,94 304,14 306,06: 305,26 310,10
政策】 基本事務事業】 事務事業】 目的】 《等活動を迅速化す	20 2005 200503 るため、	小金消防署の実態調査 確となった。 市民を火災から守る 消防施設の機能を強 消防施設管理事業 【指標】 維持管理率(%)	及び消防署の適正配置を検討を実施し、次年度に 化する 【指標概要】	[H15] 66 66 0 0	【扩 推 译 [H16] 100 100	施策】 3当課: 指防局企[[H17] 100 100	2 6001000 画管理室 [H18] 100 100	火災を [H19] 100 100 0	事業の実施結果 を拡大 会計 せない 会計 費 計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を基に、今後の 消防体制を確 、一般会計 [H15] 324,413 323,574 324,413 323,574 320,755 2.19 達費:千円 5署維持管理業	在立する 計画区分 - [H16] 343,139 343,139 343,139 343,139 337,774 2.19 職員数:人	一般事業 [H17] 319,548 317,249 317,939 315,640 316,115	404 戦略区: [H18] 301,452 299,938 303,756 302,957 306,865	[H19] 304,941 304,14 306,063 305,26 310,108
政策】 基本事務事業】 事務事業】 目的】 災害活動を迅速化す 前防署機能の充実を	20 2005 200503 るため、	小金消防署の実態調査 確となった。 市民を火災から守る 消防施設管理事業 【指標】 維持管理率(%)	及び消防署の適正配置を検討を実施し、次年度に 化する 【指標概要】	[H15] 66 66	[j] 推 [H16] 100 100	施策】 3当課: [H17] 100 100	2 6001000 画管理室 [H18] 100 100	火災を [H19] 100 100 0	事業の実施結果 を拡大させない 会計 区分 【事画級財額 (一般財源) 予算級額 (一般財額 (一般財額 (一般財額 (一般財額 (一般財額 (一般財額 (一般財額 (一般財額 (一般財額 (一般財額 (一般財額 (一般財額 (一般財務) (一成財務) (を基に、今後の 消防体制を研 ・一般会計 [H15] 324,413 323,574 324,413 323,574 320,755 2.19 き費:千円 署維持管理業 センター維持	在立する 計画区分 - [H16] 343,139 343,139 343,139 343,139 343,139 337,774 2.19 職員数:人 務	一般事業 [H17] 319,548 317,249 317,939 315,640 316,115	404 戦略区: [H18] 301,452 299,938 303,756 302,957 306,865	[H19] 304,941 304,142 306,063 305,266 310,108
【政策】 【基本事務事業】 【事務事業】 【目的】 災害活動を迅速化す 消防署機能の充実を	20 2005 200503 るため、	小金消防署の実態調査 確となった。 市民を火災から守る 消防施設管理事業 【指標】 維持管理率(%)	及び消防署の適正配置を検討を実施し、次年度に 化する 【指標概要】	[H15] 66 66 0 0	[H16] 100 100 0 0	施策】 3当課: [H17] 100 100	2 6001000 画管理室 [H18] 100 100 0 0	火災を [H19] 100 100 0 0	事業の実施結果 を拡大ない 会業額 (一事画般財額源) 予一般質数位) 消訓車枚助 (業務) 「業務」 第1111年 第211年 第21年年 第2	を基に、今後の 消防体制を確 ・一般会計 [H15] 324,413 323,574 324,413 323,574 320,755 2.19 費 : 千円 署維持管理業務 はお持管理業務 はお持管理業務 はお持管理業務 はお持管理業務	在立する 計画区分 - [H16] 343,139 343,139 343,139 343,139 337,774 2.19 職員数:人 務管理業務	一般事業 [H17] 319,548 317,249 317,939 315,640 316,115	404 戦略区: [H18] 301,452 299,938 303,756 302,957 306,865	[H19] 304,941 304,142 306,063 305,264 310,105
【政策】 【基本事務事業】 【事務事業】 【目的】 災害活動を迅速化す 消防署機能の充実を ば対象】 被災者	20 2005 200503 るため、	小金消防署の実態調査 確となった。 市民を火災から守る 消防施設管理事業 【指標】 維持管理率(%)	及び消防署の適正配置を検討を実施し、次年度に 化する 【指標概要】	[H15] 66 66 0 0	[H16] 100 100 0 0	施策】 3当課: [H17] 100 100	2 6001000 画管理室 [H18] 100 100	火災を [H19] 100 100 0 0	事業の実施結果 ・	* 一般会計 [H15] 324,413 323,574 324,413 323,574 320,755 2.19 達費:千円 選出持戶管理業等 地大夕一理業等 地大夕一理業等 地大夕一理業等 地大學、一種持等 地大學、一種持等 地大學、一種大學、一種 北大學、一種、一種、大學、一種、大學、一種、一種、大學、一種、大學、一種、大學、一種、大學、一種、大學、一種、大學、一種、一種、大學、一種、一種、大學、一種、一種、大學、一種、一種、大學、一種、一種、大學、一種、一種、一種、一種、一種、一種、一種、一種、一種、一種、一種、一種、一種、	本立する 計画区分 - [H16] 343,139 343,139 343,139 343,139 343,139 337,774 2.19 職員数:人 管理業務 : ::::::::::::::::::::::::::::::::::	一般事業 [H17] 319,548 317,249 317,939 315,640 316,115	404 戦略区: [H18] 301,452 299,938 303,756 302,957 306,865	
【政策】 【基本事務事業】 【事務事業】 【目的】 災害活動を迅速化す 消防署機能の充実を	20 2005 200503 るため、	小金消防署の実態調査 確となった。 市民を火災から守る 消防施設管理事業 【指標】 維持管理率(%)	及び消防署の適正配置を検討を実施し、次年度に 化する 【指標概要】 改修数/要改修数	[H15] 66 66 0 0	[H16] 100 100 0 0	施策】 3当課: [H17] 100 100	2 6001000 画管理室 [H18] 100 100 0 0	火災を [H19] 100 100 0 0 実績	事業の実施結果 ・	き基に、今後の 消防体制を確 ・一般会計 [H15] 324,413 323,574 324,413 323,574 320,755 2.19 達費:千円 澤本持管理工業等理上次与一維持行 連門工業等理工業等理 場合管制シス	在立する 計画区分 - [H16] 343,139 343,139 343,139 343,139 343,139 343,139 337,774 2.19 職員数:人 管理業務 デム運用業務	一般事業 [H17] 319,548 317,249 317,939 315,640 316,115 2.19	404 戦略区: [H18] 301,452 299,938 303,756 302,957 306,865 2.19	[H19] 304,941 304,142 306,063 305,264 310,105

【政策】 【基本事務事業】		市民を火災から守る 消防施設の機能を強化	ごする		_	施策】 旦当課:	2 6001000		太大させない	消防体制を確	産立する			
【事務事業】	200504	消防団施設整備事業			Ϋ́	肖防局企i	画管理室	<u> </u>	会計区分	一般会計	計画区分	計画事業	404 戦略区:	分 成長
【目的】		【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
地域防災拠点施設とし	ての充	消防センター改築数(棟)	建設数/計画数	1	1	0	1	0	計画額	21,329	22,000	0	19,000	0
実強化を図る				1	1	0	1	0 ((一般財源)	2,862	2,733	0	2,425	0
		1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1					=	予算額	21,329	22,000	0	25,000	0
			; ;					_ (一般財源)	2,862	2,733	0	3,417	0
			i i 1 1	0	0	0	0	0	決算額	17,273	19,446	0	21,672	0
			1	0	0	0	0	0	職員数 単位)事業	0.1	0.1 職員数:人	0.1	0.1	0.1
	i				0	0	0	0	1 , 1	センターを建設				
【対象】			 	0	0	0	0	0						
被災者	į	ï		【指標	直】上段:	予算目標	票 下段:	実績						

【定量分析】:課題:現状分析

消防センターの整備・改築を実施することにより消防団活動を支援した。

【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性

地域防災活動の核となる消防団の活動拠点を整備・改築する本事業は、市民を火災から守る最重要課題として継続事業とする。

【計画事業】

【計画事業名】110地域防災活動拠点整備事業

【節項コード】 404 【節名】安全で快適な生活環境の実現

【項名】安全で安心な地域環境づくり

	H15	H16	H17	H18	H19
	消防センター建設工事	消防センター建設工事		消防センター建設工事	
計画	1 				
			,	,==============;	<u> </u>
	1施設新松戸12分団2班	1施設紙敷28分団1班		1施設上本郷2分団	
実績	 				
	L				

【施策】 2 火災を拡大させない消防体制を確立する

【基本事務事業】 2006 資源の再配分をする

発生しても迅速的確な消防活動により、火災

を拡大させない体制を確立する

【背景】

高齢化社会のあおりは現場職である消防にも影響を与えている 焼死者ゼロをめざすために、ひとたび火災が

コード 配下事務事業名

> 200601 常備消防管理事業 200602 消防基盤再構築事業 200603 消防音楽隊活動事業

【節】 安全で快適な生活環境の実現

【項】 安全で安心な地域環境づくり

【基本計画区分】

【担当部課評価】: 最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持

404【担当課】 6001000 消防局企画管理室

「消防力の整備指針」を基に、松戸市の適正人員を算出す る。また、テクニカルリーダー制度及び予防技術資格者制 度により、消防総合力を低下させないようにし、経験の少な い職員に技術・知識の伝授を図る。

【今後の課題】

適正な組織定数管理、定数管理基準の見直し

【重要性】

【目的】

消防力の要素のひとつである「人」を適正に 配分することで、部隊としての力が維持できる

> 【現状分析】 【指標】 上段:予算目標 下段:実績 [H15] [H16] [H17] [H18] [H19] 今後は職員の高齢化と共に、職員の大量退職時代に突入いたしま 人的資源の再配分 100 100 100 100 100 す。それに伴い職員の技術・知識の流出を防ぐための努力と、人材の 適正配置が重要な課題となっています。 100 100 100 100 100 (%) 0 0 0 0 0 0 0 0 0

【政策】 20 市民を火災から守る 【施策】 2 火災を拡大させない消防体制を確立する 【基本事務事業】 2006 資源の再配分をする 担当課: 6001000

【事務事業】	200601	常備消防管理事業			ÌÌ	j防局企i	画管理室	<u> </u>	会計区分	一般会計	計画区分 一	一般事業	404 戦略区分	'
【目的】		【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
消防局の事務を適正に幸	执行す	監査の指摘数ゼロをめざ	指摘を受けた数	100	100	100	100	100	計画額	134,712	149,029	144,726	141,288	142,013
る		す(件)		100	100	100	100	100	(一般財源)	133,588	148,325	144,026	140,588	141,314
	į								予算額	134,712	149,029	144,965	142,427	140,931
	ļ	in	¦	-	0	0	0	0	(一般財源)	133,588	148,325	144,265	141,728	140,229
		U		0	0	0	0	0	決算額	143,855	142,431	139,161	134,844	132,928
				U	U	U	U	U	職員数	139.53	139.53	139.53	139.53	139.53
	į	<u> </u>	ļ	<u> </u>					単位)事業		職員数:人			
		()		0	0	0	0	0	【業務】 交際	費 運営業務				
【対象】				0	0	0	0	0	職員	研修業務				
市民				【指標	直】上段:	予算目標	票 下段:	実績		管理業務 活動業務				

【定量分析】:課題・現状分析

テクニカルリーダー制度の導入及び予防技術資格者制度の実施により、現場活動における消防職員の技術・知識の向上が なされている。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

広報活動業務

今後もテクニカルリーダー及び予防技術資格者の適正配置により、大量退職によるベテラン職員の技術及び知識の流出を防ぐ。

【基本事務事業】 【 事務事業 】		資源の再配分をする 消防基盤再構築事業			-	!当課 : 節局企ī	6001000 画管理室		会計区	分 一般会計	計画区分	一般事業	404 戦略区	分 —
【目的】		【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
効率的な消防組織を実	現する	指標の達成率(%)	達成数/指標設定数	100	100	100	100	100	計画額	0	0	0	0	(
ために、消防基盤の改革 る。	色をす		 	100	100	100	100	100	(一般財源)	0	0	0	0	
			 						予算額	0	0	0	0	(
		()		0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	Ü	0	
				0	0	0	0	0	決算額 職員数	0 3.96	0 3.96		0 3.96	3.9
										3.90 季業費:千円	3.50 職員数:人	3.90	3.90	ა. უ
		()	:	0	0	0	0	0	【業務】機	構制度等を調査	研究する			
対象】				0	0	0	0	0	中	期ビジョンを構築	きする			
市民(通勤・通学者を含	む)			【指標個	直】上段:	予算目標	票 下段:	実績						
	20	市民を火災から守る	材育成計画及び車両整備計画を適正に実施する	3〜とにより、行的7.	[]	施策】	2	る。 <u>火災を</u>	ど拡大させない	い消防体制を研	雀立する			して実施す
政策】 基本事務事業】	20 2006	市民を火災から守る 資源の再配分をする 消防音楽隊活動事業	才育成計画及び車両整備計画を適正に実施する	こことにより、旧的	【加 担	施策】 !当課:		[会計区	ハ消防体制を配分 一般会計	催立する 計画区分	一般事業	404 戦略区	
政策】 基本事務事業】 事務事業 】	20 2006	市民を火災から守る資源の再配分をする	才育成計画及び車両整備計画を適正に実施する 【指標概要】	5〜とにより、何か。 [H15]	【加 担	施策】 !当課:	2 6001000	[一般事業 [H17]	404 戦略区 [H18]	分 — [H19]
政策】 基本事務事業】 事務事業】 目的】 「民の防火防災意識の	20 2006 200603 高揚を	市民を火災から守る 資源の再配分をする 消防音楽隊活動事業			【 / 担 消	施策】 !当課: 防局企	2 6001000 画管理室	[H19] 39	会計区 【事業費】 計画額	分 一般会計 [H15] 1,338	計画区分 [H16] 1,199	[H17] 879	[H18] 1,266	分 — [H19] 1,32
政策】 基本事務事業】 事務事業】 目的】 「民の防火防災意識の 「名ため広報の一端とし	20 2006 200603 高揚を	市民を火災から守る 資源の再配分をする 消防音楽隊活動事業 【指標】	【指標概要】	[H15]	【加 担 消 [H16]	施策】 !当課: 防局企 [H17]	2 6001000 画管理室 [H18]	[H19] 39	会計区 【事業費】 計画額 (一般財源)	分 一般会計 [H15] 1,338 1,338	計画区分 [H16] 1,199 1,199	[H17] 879 <i>879</i>	[H18] 1,266 <i>1,266</i>	分 — [H19] 1,32 [,] <i>1,32</i>
政策】 基本事務事業】 事務事業】 目的】 「民の防火防災意識の 「名の防火防災意識の 「名の防火防災意識の	20 2006 200603 高揚を	市民を火災から守る 資源の再配分をする 消防音楽隊活動事業 【指標】	【指標概要】	[H15]	【加 担 消 [H16] 39	施策】 [当課: [防局企] [H17] 39	2 6001000 画管理室 [H18] 39	[H19] 39	会計区 【事業費】 計画額 <i>(一般財源)</i> 予算額	分 一般会計 [H15] 1,338 1,338 1,338	計画区分 [H16] 1,199 1,199 1,199	[H17] 879 879 1,266	[H18] 1,266 <i>1,266</i> 1,324	分 — [H19] 1,32- 1,32- 1,32-
政策】 基本事務事業】 事務事業】 目的】 市民の防火防災意識の図るため広報の一端とし	20 2006 200603 高揚を	市民を火災から守る 資源の再配分をする 消防音楽隊活動事業 【指標】	【指標概要】	[H15]	【加 担 消 [H16] 39	施策】 [当課: [防局企] [H17] 39	2 6001000 画管理室 [H18] 39	[H19] 39	会計区 【事業費】 計画額 (一般財源) 予算額 (一般財源)	分 一般会計 [H15] 1,338 1,338 1,338	計画区分 [H16] 1,199 1,199 1,199	[H17] 879 <i>879</i> 1,266	[H18] 1,266 <i>1,266</i> 1,324 <i>1,324</i>	分 — [H19] 1,324 1,324 1,324 1,324
政策】 基本事務事業】 (事務事業】 目的】 市民の防火防災意識の図るため広報の一端とし	20 2006 200603 高揚を	市民を火災から守る 資源の再配分をする 消防音楽隊活動事業 【指標】	【指標概要】	[H15] 39 21	【抗 担 消 [H16] 39 23	施策】 1当課: 1所局企[[H17] 39 25	2 6001000 画管理室 [H18] 39 23	[H19] 39 20	会計区 【事業費】 計画額 (一般財源) 予算額 (一般財源) 決算額	分 一般会計 [H15] 1,338 1,338 1,338	計画区分 [H16] 1,199 1,199 1,199 1,312	[H17] 879 879 1,266 1,266 1,245	[H18] 1,266 1,266 1,324 1,324 1,321	分 —
政策】 基本事務事業】 (事務事業】 目的】 市民の防火防災意識の図るため広報の一端とし	20 2006 200603 高揚を	市民を火災から守る 資源の再配分をする 消防音楽隊活動事業 【指標】	【指標概要】	[H15] 39 21	[抗 担 消 [H16] 39 23	施策】 計畫課: (的) 局企([H17] 39 25	2 6001000 画管理室 [H18] 39 23	[H19] 39 20	会計区 【事業費】 計画般財源) 予算額 (一般財源) 決算額 職員数 単位)事	分 一般会計 [H15] 1,338 1,338 1,338 1,677 2.09 手費: 千円	計画区分 [H16] 1,199 1,199 1,199 1,312 2.09 職員数:人	[H17] 879 879 1,266 1,266 1,245	[H18] 1,266 1,266 1,324 1,324 1,321	分 — [H19] 1,324 1,324 1,324 1,324 1,320
政策】 基本事務事業】 事務事業】 目的】 市民の防火防災意識の図るため広報の一端とし	20 2006 200603 高揚を	市民を火災から守る 資源の再配分をする 消防音楽隊活動事業 【指標】	【指標概要】	[H15] 39 21	[抗 担 消 [H16] 39 23	施策】 計畫課: (的) 局企([H17] 39 25	2 6001000 画管理室 [H18] 39 23	[H19] 39 20 0 0	会計区 【事業額 (一般財源) 予算額 (一般財源) 決算員単位)事 (業務】演音	分 一般会計 [H15] 1,338 1,338 1,338 1,677 2.09 手業 : 千円 奏・演技の技術が 楽隊の管理運営	計画区分 [H16] 1,199 1,199 1,199 1,312 2.00 職員数:人	[H17] 879 879 1,266 1,266 1,245	[H18] 1,266 1,266 1,324 1,324 1,321	分 — [H19] 1,324 1,324 1,324 1,324 1,320
政策】 基本事務事業】 事務事業】 目的】 市民の防火防災意識の図るため広報の一端とし	20 2006 200603 高揚を でて活動	市民を火災から守る 資源の再配分をする 消防音楽隊活動事業 【指標】	【指標概要】	[H15] 39 21 0 0 0	[抗 指 [H16] 39 23 0 0 0	施策】 1当課: (所局企) [H17] 39 25 0 0	2 6001000 画管理室 [H18] 39 23 0 0	(H19) 39 20 0 0	会計区 【事業額 (一般財源) 予算額 (一般財源) 決算員単位) 集単位)事 (業務】演音	分 一般会計 [H15] 1,338 1,338 1,338 1,677 2.09 手業費: 千円 奏・演技の技術者	計画区分 [H16] 1,199 1,199 1,199 1,312 2.00 職員数:人	[H17] 879 879 1,266 1,266 1,245	[H18] 1,266 1,266 1,324 1,324 1,321	分 — [H19] 1,324 1,324 1,324 1,324 1,320
【政策】 【基本事務事業】 【事務事業】 【目的】 市民の防火防災意識の 可るため広報の一端とし する 【対象】 市民(通勤・通学者を含	20 2006 200603 高揚を でて活動	市民を火災から守る 資源の再配分をする 消防音楽隊活動事業 【指標】	【指標概要】 出演(出前出演含む)回数>=39	[H15] 39 21 0 0 0	[抗 指 [H16] 39 23 0 0 0	施策】 1当課: (所局企) [H17] 39 25 0 0	2 6001000 画管理室 [H18] 39 23 0 0	[H19] 39 20 0 0 0	会計区 【事業額 (一般類額 一般類額 一般類額 一般類額 一般類類 一般類類 一類類類 一類質数 一類質数 「業務】 「業務】	分 一般会計 [H15] 1,338 1,338 1,338 1,677 2.09 手費: 千円 奏・演技の技術を 楽隊の管理運営 防広報を行う	計画区分 [H16] 1,199 1,199 1,199 1,312 2.06 職員数:人 から上させる を行う	[H17] 879 879 1,266 1,266 1,245	[H18] 1,266 1,266 1,324 1,324 1,321 2.09	分 — [H19] 1,324 1,324 1,324 1,324 1,320

【担当部課評価】: 最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持

「消防車両の整備指針」及び「車両配置基準・車両平準化

404 戦略区分 -

計画」を基に、整備計画を樹立し効果的な車両整備を図

【政策】 20 市民を火災から守る

【施策】 2 火災を拡大させない消防体制を確立する

【基本事務事業】 2007 活動部隊を整備する 【節】 安全で快適な生活環境の実現 【項】 安全で安心な地域環境づくり

404【担当課】 6001000 消防局企画管理室 【基本計画区分】

【目的】

焼死者ゼロをめざすために、ひとたび火災が 発生しても迅速的確な消防活動により、火災 を拡大させない体制を確立する

【背景】

行財政改革の中で公益性を考慮しながら、効率性を図る

配下事務事業名 200701 消防力基準算出事業 200702 消防車両整備事業

コード

200703 消防団車両整備事業 200704 消防団車両維持管理事業

【今後の課題】

既存車両の更新及び新規導入車両等に大きな予算が必要である

【重要性】

本市の実情に即した消防力の基準を算出 し、車両及び装備品を研究精査し活動部隊 を整備する

【現状分析】

現在、署ごとに消防車両の仕様が異なっており、全消防署が同じ仕様 の車両を活用することによる消防活動の向上を図る。

【指標】 上段:予算目標 下段:実績 [H15] [H16] [H17] [H18] [H19] 市に関する全ての人 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 (%) 0 0 0 0 0 0 0

【政策】 20 市民を火災から守る 【施策】 2 火災を拡大させない消防体制を確立する 【基本事務事業】 2007 活動部隊を整備する 担当課: 6001000

【事務事業】	200701	消防力基準算出事業

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
本市の実情に即した消防力の	策定数(件)	策定数	1	1	1	1	1 計画額	0	0	0	0	0
基準を算出する。	 		1	1	1	1	1 <i>(一般財源)</i>	0	0	0	0	0
	 						予算額	0	0	0	0	0
	10						<i>(一般財源)</i>	0	0	0	0	0
ļ	()		0	0	0	0	。 決算額	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0 職員数	0.27	0.27	0.27	0.27	0.27
	! !						単位)事業	達費:千円 職	钱員数:人			
	0		0	0	0	0	0【業務】 部隊	整備業務				

【指標值】上段:予算目標 下段:実績

消防局企画管理室

【対象】

市民(通勤・通学者を含む)

【定量分析】:課題・現状分析

「消防力の整備指針」(平成17年消防庁告示第9号)に基づき本市の実情を鑑み、的確な消防力の整備目標を定めた。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

会計区分 一般会計 計画区分 一般事業

今後も刻々と変わる本市の情勢を的確に把握・勘案し、具体的で現実的な消防力の整備指針を

一次20十尺	71-7	大心可凹物间	争该计画 歪连衣										(009/03/0
【政策】 【基本事務事業】		市民を火災から守る 活動部隊を整備する			-	施策】 3当課:	2 6001000	火災を拡大させた	ない消防体制を研	権立する			
【事務事業】	200702	消防車両整備事業			淮	的 局企i	画管理室	会計	区分 一般会計	計画区分	一般事業	404 戦略区:	分 改善
【目的】		【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19] 【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
最新車両・装備により消	肖防部隊	新装備の導入率(%)	(車両導入率+新装備導入率)/2	100	100	100	100	100 計画額	60,206	198,575	30,550	130,929	68,997
を強化する				100	100	100	100	100 (一般 財源	<i>31,706</i>	16,535	2,517	10,012	14,793
								予算額	60,206	198,575	0	120,280	144,207
		!!()		0	0	0	0	(一般 財源	<i>31,706</i>	16,535	0	8,892	10,978
				0	0	0	0	🍦 決算額	34,699	182,333		121,245	142,223
		 			O	Ü	O	🌣 職員数	1.79		9 1.79	1.79	1.79
		 							事業費:千円	職員数:人			
 【対象】	!	()		0	0	0	0	0 ==	消防車両整備計画情報収集し検討す	る			
市民		 		『 +ヒ+冊 <i>!</i>	± ¶ ∟ ∈л.	~ ~ ~ ~ ·			車両を導入(更新)	90			
			l I	【拍標1	旦】上段:	ア 昇日付	票 下段:	夫棋					
【政策】 【基本事務事業】 【 事務事業 】	20 2007 200703	市民を火災から守る 活動部隊を整備する 消防団車両整備事業			担	施策】 3 当課 : 6防局企同	2 6001000 画管理室	火災を拡大させ ⁷ 会計	ない消防体制を研究 (ない) ない でんしょう でんしょう しんこう しんりょう しんしょう しんしゃく しんしゃ しんしゃ	確立する 計画区分	一般事業	404 戦略区:	分 成長
【目的】		【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19] 【事業費】] [H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
地域に密着した消防力	である	更新計画に対する達成率	整備数/計画数	100	100	100	100	100 計画額	19,250	17,000		12,750	12,300
消防団活動基盤の車両品を導入する	可と装備	(%)		100	100	100	100	100 (一般財源	(i) 3,798	1,248	1,154	761	1,137
田で寺八りる		1 ! !						予算額	19,250	17,000	14,500	12,300	13,506
		()	Ј { 7 /		0	0	0	<i>(一般財源</i>	<i>3,798</i>	1,248	4,700	1,137	1,243
				0	0	0	0	。 決算額	16,998	16,960	14,385	12,272	13,498
		 			U	U	U	職貝致	0.15 事業費: 千円	0.15 職員数:人	5 0.15	0.15	0.15
		[0	0	0		消防車両整備計画	11.5 400			
		V		0	0	0	0	-	情報収集し検討す	る			
市民		1			± 1 1 cm.		_		車両を導入(更新)	する			
			!!	【指標1	旦』上段∶	ア 昇日科	票 下段:	夫棋					
		【定量分析】:課題・現場 消防団車両と装備品を更	大分析 新を図り、地域に密着した消防団部隊の整備を実力	施した					価】: 最終結果・請 消防団車両等の更				

【政策】	20	市民を火災から守る			[施策】	2	火災を	を拡大させない消	肖防体制を研	産立する			
【基本事務事業】	2007	活動部隊を整備する			‡ .	旦当課:	6001000							
【事務事業】	200704	消防団車両維持管理署	事業		Ý	肖防局企	画管理室	[会計区分	一般会計	計画区分 -	一般事業	404 戦略区	分 —
【目的】		【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
消防団活動を維持する		維持管理率(%)	維持管理数/配置台数	100	100	100	100	100	計画額	2,481	5,014	3,784	3,593	3,472
				100	100	100	100	100	(一般財源)	2,481	5,014	3,784	3,593	3,472
	į								予算額	2,481	5,014	3,784	3,472	3,611
			!	0	0	0	0	0	(一般財源)	2,481	5,014	3,784	3,472	3,611
		()		0	0	0	0	0	決算額	4,678	4,347	3,748	3,591	3,509
	į			0	0	0	0	0	職員数	1.79		1.79	1.79	1.79
									単位)事業	費:千円	職員数:人			
		()		0	0	0	0	0		表備品を維持				
【対象】				0	0	0	0	0	行[95]	団車両を維持	官埋する			
市民				【指標	直】上段:	予算目標	票 下段:	実績						
		【定景公析】:理顯.預生	#公析					7 +c		日幼什田 =	明明の北羊畑		<u> </u>	

【定量分析】∶課題・現状分析

消防団の車両及び装備品の維持及び管理を実施し、機能を十分発揮することができた。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

今後も車両及び装備品の機能を十分発揮するため、維持管理に努める。

【施策】 2 火災を拡大させない消防体制を確立する

【基本事務事業】 2008 消防水利を整備する 【節】 安全で快適な生活環境の実現 【項】 安全で安心な地域環境づくり

404【担当課】 6001000 消防局企画管理室 【基本計画区分】

【目的】

焼死者ゼロをめざすために、ひとたび火災が 発生しても迅速的確な活動により、火災を拡 大き仕が、は無りを使ったプラント 大させない体制を確立する

【背景】

コード 配下事務事業名 200801 防火水槽整備事業

200802 消火栓設置等負担金 200803 その他水利整備事業

【担当部課評価】: 最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持 消防水利を整備し消火活動に万全を期する。

【今後の課題】

防火水槽の親切設置は大きな金額が必要である。消火栓は県水道 局の工事に合わせて消火栓の設置等が行われるので予定どおり進ま

【重要性】

開発・道路整備により居住圏が拡大されてい

【現状分析】

新設消火栓は計画に基づき適正な設置を行い、既存消火栓につい ては維持管理を徹底する。

【指標】 上段:予算目標 下段:実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
消防水利の充足率	0	0	0	0	94
(%)	89.5	89.5	89.5	89.5	89.5
消防水利計画の策定	1	0	0	0	0
(佐)	1	1	1	0	0

【政策】 【基本事務事業】	20 2008	市民を火災から守る 消防水利を整備する				施策】 旦当課:	2 6001000	火災を拡大させた	ない消防体制を	雀立する			
【事務事業】	200801	防火水槽整備事業			λ	j防局企i	画管理室	会計	区分 一般会計	計画区分	計画事業	404 戦略区:	分 改善
【目的】		【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19] 【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
大震災時や水道施設の)故障に	整備率(基)	整備数 / 計画数	1	1	1	1	1 計画額	11,074	17,450	0	914	1,000
対応するため防火水槽 強、維持管理する	を増	 		1	1	0	1	1 <i>(一般財源</i>	3,156	6,057	0	914	1,000
压、作的 日 在 9 3		1 ! ! !						予算額	11,074	17,450	0	900	1,000
			, ,					_ (一般財源	3,156	6,057	0	900	1,000
	į	()		0	0	0	0) . 決算額	7,770	17,376	0	787	893
		 		0	0	0	0	0 職員数	8.03	8.03	8.03	8.03	8.03
	-	1 						単位)	事業費:千円	職員数:人			
	į	()		0	0	0	0	0【業務】	防火水槽を設置す	る			
【対象】		1 ! ! !		0	0	0	0	0					
市民(通勤・通学者を含	む)			【指標作	直】上段:	予算目標	票 下段:	実績					

【定量分析】:課題・現状分析

防火水槽を2基整備し消防水利の充実を図った。

【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性

防火水槽の未整備地域に整備を行う。

【計画事業】

【計画事業名】消防水利整備事業

【節項コード】 404 【節名】安全で快適な生活環境の実現 【項名】安全で安心な地域環境づくり

	H15	H16	H17	H18	H19
	設置1基	設置1基撤去1基		撤去1基	撤去1基
計画					
	設置1基(常盤平こでまり公園)	設置1基(道合第1公園)撤去1基		撤去1基	撤去1基
美額					

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

消火栓を適正配置し、設置及び維持管理に努める

【政策】 【基本事務事業】		市民を火災から守る 消防水利を整備する			_	施策】 旦当課:	2 6001000	火災を	を拡大させない消	当防体制を確	全立する			
		消火栓設置等負担金			-		画管理室		会計区分	一般会計	計画区分 計	一画事業	404 戦略区2	分 — <u> </u>
【目的】		【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
消防水利を確保する		整備数(基)	整備した数	20	20	20	20	20	計画額	16,000	10,814	10,670	8,370	8,370
	į			20	20	20	20	20	(一般財源)	16,000	10,814	10,670	8,370	8,370
									予算額	16,000	10,814	9,470	8,370	8,370
			\						<i>(一般財源)</i>	16,000	10,814	9,470	8,370	8,370
	į	()		0	0	0	0	0	決算額	13,760	10,791	9,025	8,317	8,364
				0	0	0	0	0	職員数	8.03	8.03	8.03	8.03	8.03
		 							単位)事業	費:千円	職員数:人			
	i	()	[0	0	0	0	0		全を設置する	. x - z			
【対象】				0	0	0	0	0	消火和	全の維持管理	を行う			
市民(通勤・通学者を含む))			【指標作	直】上段:	予算目標	票 下段:	実績						

【計画事業】

【計画事業名】消防水利整備事業

【定量分析】:課題・現状分析

消火栓の設置及び維持管理を実施し、消火栓の充実を図る。

【節項コード】 404 【節名】安全で快適な生活環境の実現 【項名】安全で安心な地域環境づくり

	H15	H16	H17	H18	H19
	,		設置、維持管理	設置、維持管理	設置、維持管理
計画					
	r	新設5基維持25基	新設5基維持25基	新設0基維持21基	新設3基維持10基
実績					

【政策】 【基本事務事業】	20 2008	市民を火災から守る 消防水利を整備する			_	施策】 旦当課:	2 6001000		せない消防体制を研	在立する			
【事務事業】	200803				-		画管理室		计区分 一般会計	計画区分	計画事業	404 戦略区	分 —
【目的】		【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19] 【事業費	貴】 [H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
消火栓・防火水槽以外 を確保する	トの水利	指定数(件)	指定水利数	5	5	5	5	5 計画額	0	0	0	0	0
を確保する		i I Į		0	0	0	0	0 (一般財	源) 0	0	0	0	0
		1 1 1						予算額	0	0	0	0	0
			\					(一般財	(源)	0	0	0	0
	}	()		0	0	0	0) . 決算額	0	0	0	0	0
		 		0	0	0	0	⁰ 職員数 ^{単位}	8.06	8.00 職員数:人	8.06	8.06	8.06
		()		0	0	0	0	0【業務】	有効な水利を確保				
【対象】	,	i !		0	0	0	0	0	その他の水利を点) りつ			
市民					直】上段:	予算目標	票 下段:	実績					
		【定量分析】: 課題・現場を指定							評価】: 最終結果・認 1水利を指定し消火活		・今後の方向性	<u> </u>	

【計画事業】

【計画事業名】消防水利整備事業

【節項コード】 404 【節名】安全で快適な生活環境の実現 【項名】安全で安心な地域環境づくり

	H15	H16	H17	H18	H19
		有効な水利を確保する	有効な水利を確保する		有効な水利を確保する
計画					
		<u> </u>		=======================================	
実績					
	<u> </u>	[

2009 迅速的確に活動する

20 市民を火災から守る 【政策】

【施策】 3 火災による被害を軽減する 【節】 安全で快適な生活環境の実現 【項】 安全で安心な地域環境づくり

404【担当課】 6002500 消防救急課 【基本計画区分】

【目的】

【基本事務事業】

【背景】

市民を災害から守り、焼死者ゼロ及び損害額 を軽減するために消防職団員の消失活動技 施の向上及び状態は対応できる現場能力が 必要とされている。

コード 配下事務事業名

200901 活動体制及び活動基準確立事業

200902 部隊運用事業

200903 部隊活動技術向上事業

【担当部課評価】: 最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持

市民を災害から守り、焼死者ゼロ及び損害額を軽減するた めに消防職団員の消火活動技術等の向上を継続的に実 施する。

【今後の課題】

活動指針の整備

【重要性】

共通認識を持った火災防ぎょにより、円滑な 現場連携が可能である

術の向上及び消防機械装備を充実する

【現状分析】

火災件数(建物火災)件数は年々減少傾向にある。延焼率も減少傾 向にある。

【指標】 上段:予算目標 下段:実績 延焼率

[H15] [H16] [H17] [H18] [H19] 70 70 70 70 70

0 0 (%)

0 0 0 0 0 0 0 0 0

0

76.3

70.5

【政策】 20 市民を火災から守る

2009 迅速的確に活動する

担当課: 6002500

【施策】

3 火災による被害を軽減する

【事務事業】 20090	1 活動体制及び活動基準	準確立事業		Ŷĺ	肖防救急	課		会計区分	} 一般会計	計画区分 —	·般事業	404 戦略区2	分 —
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
現場活動が迅速、円滑に展開	活動体制の見直し数(件)	活動体制の見直し数(策定数)	1	13	4	0	0	計画額	26	26	26	26	26
できるようにする			1	13	4	0	0	(一般財源)	26	26	26	26	26
								予算額	26	26	26	26	26
	i e	!		0	0	0	0	(一般財源)	26	26	26	26	26
	U		0	0	0	0	0	決算額	26	26	0	0	0
		i i 	U	0	0	0	0	職員数	0.66	0.66	0.66	0.66	0.66
			 					単位)事業	業費:千円	職員数:人			
	()		0	0	0	0	0		な活動技術を向 ないません。				
【対象】			0	0	0	0	0		₹活動指針を検 求活動を検証す				
消防職員·消防団員			【指標作	直】上段:	予算目標	票 下段:	実績	消防	方訓練センターを	を活用する			

【基本事務事業】

【定量分析】:課題・現状分析

現場活動を迅速、円滑に展開するために、変更が生じれば随時見直しを図る。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

現状維持

平成20年度 第2	<u>2次</u>	実施計画期間_	事後評価 整理表											2009/03/0
【政策】		市民を火災から守る				施策】	3	火災に	よる被害を軽	減する				
		迅速的確に活動する			-	旦当課:	6002500							
【事務事業】 2009	902	部隊運用事業			消	肖防救急	課		会計区分	一般会計	計画区分	一般事業	404 戦略	区分 一
【目的】		【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
不測する災害に適応する対応	Ď	出場から活動開始までの	前年の所要時間-当年の所要時間	6.5	6.5	6.5	6.5		計画額	0	0	0	0	0
を確立して活動体制を整える。	D	短縮時間(分)		2.2	3.8	3.5	3.4	3.3	(一般財源)	0	0	0	0	0
									予算額	0	0	0	0	
		()		0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	Ü	·	v
				0	0	0	0	0	決算額	0	0	· ·	v	_
									職員数 単位)事業	49.87	49.87 職員数:人	7 49.87	7 49.8'	7 49.87
	!	()		0	0	0	0	0		出場業務				
【対象】				0	0	0	0	0		、隊支援業務 」障害の対応業	務			
消防職員·消防団員				【指標個	直】上段:	予算目標	票 下段:	実績						
			、分析 助訓練等により、現場活動技術の向上に努め、市	「民の安全・安心				多種		重災害に即時対		**・* 一、		
	009		動訓練等により、現場活動技術の向上に努め、市	「民の安全・安心	[: #	た 施策】 当 講: 当防救急;	6002500	多種火災に		重災害に即時対 減する	け応するため、糸			区分 —
【基本事務事業】 2	009 903	消防職員、団員が消防活動 市民を火災から守る 迅速的確に活動する	動訓練等により、現場活動技術の向上に努め、市	「民の安全・安心 [H15]	[: #	施策】 ^担 当課:	6002500	多種火災に	重多様化する各種 よる被害を軽 会計区分	重災害に即時対 減する ➤ 一般会計	お画区分・	継続訓練を必要	とする。 404 戦略	
【基本事務事業】 2 【事務事業】 2009 【目的】 現場活動を安全確実に行うた	009 903	消防職員、団員が消防活動 市民を火災から守る 迅速的確に活動する 部隊活動技術向上事動 【指標】	動訓練等により、現場活動技術の向上に努め、市 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	[H15]	【 拉 菲	施策】 3当課: 3的救急	6002500 课	多種 火災に [H19]	重多様化する各種 よる被害を軽	重災害に即時対 減する	け応するため、糸	継続訓練を必要 一般事業 [H17]	:とする。 -	[H19]
【基本事務事業】 2 【事務事業】 2009 【目的】 現場活動を安全確実に行うために知識、技術、体力を備えが	009 903	消防職員、団員が消防活動 市民を火災から守る 迅速的確に活動する 部隊活動技術向上事動	動訓練等により、現場活動技術の向上に努め、市		【注 担 消 [H16]	施策】 3 当課 : 4防救急 [H17]	6002500 課 [H18]	多種 火災に [H19] 100	重多様化する各種 よる被害を軽 会計区分 【事業費】	重災害に即時対 減する ➤ 一般会計 [H15]	が 計画区分 - [H16]	継続訓練を必要 一般事業 [H17] 0	とする。 404 戦略 [H18] 0	[H19]
【基本事務事業】 2 【事務事業】 2009 【目的】 現場活動を安全確実に行うた	009 903	消防職員、団員が消防活動 市民を火災から守る 迅速的確に活動する 部隊活動技術向上事動 【指標】	動訓練等により、現場活動技術の向上に努め、市 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	[H15]	【注 注 作 [H16] 100	施策】 3当課: 当防救急; [H17] 100	6002500 課 [H18] 100	多種 火災に [H19] 100	重多様化する各種 よる被害を軽 会計区分 【事業費】 計画額	重災害に即時対 減する ➤ 一般会計 [H15] 0	が 計画区分 [H16] 0	継続訓練を必要 一般事業 [H17] 0	とする。 404 戦略 [H18] 0	[H19] 0 0
【基本事務事業】 2 【事務事業】 2009 【目的】 現場活動を安全確実に行うために知識、技術、体力を備えが	009 903	消防職員、団員が消防活動 市民を火災から守る 迅速的確に活動する 部隊活動技術向上事動 【指標】	動訓練等により、現場活動技術の向上に努め、市 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	[H15] 100 78.1	[1] 推 第 [H16] 100 81.6	施策】 3当課: 的教急 H17] 100 86.3	6002500 課 [H18] 100 42.9	多種 火災に [H19] 100 60.8	重多様化する各種 よる被害を軽 会計区分 【事業費】 計画額 (一般財源)	重災害に即時対 減する ➤ 一般会計 [H15] 0 0	計画区分 - [H16] 0	一般事業 [H17] 0 0	とする。 404 戦略 [H18] 0 0	[H19] 0 0 0
【基本事務事業】 2 【事務事業】 2009 【目的】 現場活動を安全確実に行うために知識、技術、体力を備えが	009 903	消防職員、団員が消防活動 市民を火災から守る 迅速的確に活動する 部隊活動技術向上事動 【指標】	動訓練等により、現場活動技術の向上に努め、市 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	[H15] 100 78.1	[1] 担 [H16] 100 81.6	施策】 3当課: 均防救急; [H17] 100 86.3	6002500 課 [H18] 100 42.9	多種 火災に [H19] 100 60.8	重多様化する各種 よる被害を軽 会計区分 【事業費】 計一般財源) 予算額 (一般財源) 決算額	重災害に即時対 減する ➤ 一般会計 [H15] 0 0	計画区分 [H16] 0 0 0	一般事業 [H17] 0 0 0	とする。 404 戦略 [H18] 0 0 0	[H19] 0 0 0
【基本事務事業】 2 【事務事業】 2009 【目的】 現場活動を安全確実に行うために知識、技術、体力を備えが	009 903	消防職員、団員が消防活動 市民を火災から守る 迅速的確に活動する 部隊活動技術向上事動 【指標】	動訓練等により、現場活動技術の向上に努め、市 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	[H15] 100 78.1	[1] 推 第 [H16] 100 81.6	施策】 3当課: 的教急 H17] 100 86.3	6002500 課 [H18] 100 42.9	多種 火災に [H19] 100 60.8	重多様化する各種 よる被害を軽 会計区分 【事業額 (一般財額 (一等) (一等) (一等) (一等) (一等) (一等) (一等) (一等)	減する一般会計[H15]0000011.64	計画区分 [H16] 0 0 0 0 0 11.64	一般事業 [H17] 0 0 0 0	せかる。 404 戦略 [H18] 0 0 0 0	[H19] 0 0 0 0 0 0
【基本事務事業】 2 【事務事業】 2009 【目的】 現場活動を安全確実に行うために知識、技術、体力を備えが	009 903	消防職員、団員が消防活動 市民を火災から守る 迅速的確に活動する 部隊活動技術向上事動 【指標】	動訓練等により、現場活動技術の向上に努め、市 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	[H15] 100 78.1 0 0	【 排 [H16] 100 81.6	施策】 3当課: 尚防救急 [H17] 100 86.3	(6002500 課 [H18] 100 42.9 0 0	多種 火災に [H19] 100 60.8	重多様化する各種 よる被害を軽 会計医分 【事重額 (一般財額 (一般財額 (一般財額 (一般財額)) 、決算員数 (単位) 事業	減する → 一般会計 [H15] 0 0 0 0 11.64 き費:千円	計画区分 - [H16] 0 0 0 0 11.64 職員数:人	一般事業 [H17] 0 0 0 0	せかる。 404 戦略 [H18] 0 0 0 0	[H19] 0 0 0 0 0
【基本事務事業】 2 【事務事業】 2008 【目的】 現場活動を安全確実に行うために知識、技術、体力を備えた 隊員を育成する	009 903	消防職員、団員が消防活動 市民を火災から守る 迅速的確に活動する 部隊活動技術向上事動 【指標】	動訓練等により、現場活動技術の向上に努め、市 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	[H15] 100 78.1 0 0	【注 注 [H16] 100 81.6	施策】 3当課: 当防救急 [H17] 100 86.3	6002500 課 [H18] 100 42.9 0 0	少災に (H19) 100 60.8	重多様化する各種 よる被害を軽 会計医分 【事画額 (一般財額 派) 予算額 (一般財額 派) 決算額 職員数 単位) 事業	減する一般会計[H15]0000011.64	計画区分 - [H16] 0 0 0 0 11.64 職員数:人	一般事業 [H17] 0 0 0 0	せかる。 404 戦略 [H18] 0 0 0 0	[H19] 0 0 0 0 0
【基本事務事業】 2 【事務事業】 2009 【目的】 現場活動を安全確実に行うために知識、技術、体力を備えが	009 903	消防職員、団員が消防活動 市民を火災から守る 迅速的確に活動する 部隊活動技術向上事動 【指標】	動訓練等により、現場活動技術の向上に努め、市 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	[H15] 100 78.1 0 0 0	[H16] 100 81.6 0 0	施策】 3当課: 当防救急 [H17] 100 86.3	6002500 課 [H18] 100 42.9 0 0	多種 火災に [H19] 100 60.8 0 0	重多様化する各種 よる被害を軽 会計医分 【事重額 (一般財額 (一般財額 (一般財額 (一般財額)) 、決算員数 (単位) 事業	減する → 一般会計 [H15] 0 0 0 0 11.64 き費:千円	計画区分 - [H16] 0 0 0 0 11.64 職員数:人	一般事業 [H17] 0 0 0 0	せかる。 404 戦略 [H18] 0 0 0 0	[H19] 0 0 0 0 0
【基本事務事業】 2 【事務事業】 2008 【目的】 現場活動を安全確実に行うために知識、技術、体力を備えが 隊員を育成する	009 903	消防職員、団員が消防活動 市民を火災から守る 迅速的確に活動する 部隊活動技術向上事動 【指標】	動訓練等により、現場活動技術の向上に努め、市 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	[H15] 100 78.1 0 0 0	[H16] 100 81.6 0 0	施策】 3当課: 当防救急 [H17] 100 86.3	6002500 課 [H18] 100 42.9 0 0	多種 火災に [H19] 100 60.8 0 0	重多様化する各種 よる被害を軽 会計医分 【事重額 (一般財額 (一般財額 (一般財額 (一般財額)) 、決算員数 (単位) 事業	減する → 一般会計 [H15] 0 0 0 0 11.64 き費:千円	計画区分 - [H16] 0 0 0 0 11.64 職員数:人	一般事業 [H17] 0 0 0 0	とする。 404 戦略 [H18] 0 0 0 0 0	[H19] 0 0 0 0 0
【基本事務事業】 2 【事務事業】 2008 【目的】 現場活動を安全確実に行うために知識、技術、体力を備えが 隊員を育成する	009 903	消防職員、団員が消防活動 市民を火災から守る 迅速的確に活動する 部隊活動技術向上事動 【指標】	動訓練等により、現場活動技術の向上に努め、市 【指標概要】 (技能到達度+体力到達度)/2	[H15] 100 78.1 0 0 0	[H16] 100 81.6 0 0	施策】 3当課: 当防救急 [H17] 100 86.3	6002500 課 [H18] 100 42.9 0 0	タを 火災に [H19] 100 60.8 0 0 0	重多様化する各種 よる被害を軽 会計を受ける (事業額がのでは、 計ののでは、 計のでは、 計のでは、 一般がいる。 一般が、一般が、一般が、一般が、一般が、一般が、一般が、一般が、一般が、一般が、	減する → 一般会計 [H15] 0 0 0 11.64 を費:千円 の活動技術の「	計画区分 - [H16] 0 0 0 0 11.64 職員数:人 向上業務	一般事業 [H17] 0 0 0 0	とする。 404 戦略 [H18] 0 0 0 0 1 11.6	[H19] 0 0 0 0 0

【施策】 3 火災による被害を軽減する

【基本事務事業】 2010 地域に密着した消防団が街を守る 【節】 安全で快適な生活環境の実現 【項】 安全で安心な地域環境づくり

404【担当課】 6001000 消防局企画管理室 【基本計画区分】

【目的】

市民を災害から守り、焼死者ゼロ及び損害額 を軽減するために消防職団員の消火活動技 術の向上及び消防機械装備を充実する

【背景】

過去の例による大災害では、消防団をはじめボランティア団体が不可 欠である

配下事務事業名 201001 消防団活動事業

201002 消防団施設維持管理事業

201003 消防団員等公務災害補償等共済基金負

【担当部課評価】: 最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持

住民との連携により災害から地域を守り、消防団の災害 対応力を高めるため、地域防災の拠点となる消防団の活 動を支援する。また、環境の整備及び活動支援並びに消 防団員の確保をしなければならない。

【今後の課題】

定数の充足率

【重要性】

地震、風水害など広域にわたる災害が発生し た場合、消防団の活動は地域のリーダー的 存在である

> 【現状分析】 地域防災拠点となる消防団の活動を支援するため、環境の整備、活 動支援及び消防団員確保をしなければならない。

【指標】 上段:予算目標 下段:実績 [H15] [H16] [H17] [H18] [H19] 活動率 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 (%) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

6001000

【政策】 20 市民を火災から守る 【施策】 3 火災による被害を軽減する

【基本事務事業】 2010 地域に密着した消防団が街を守る

201001 消防団活動事業

担当課: 消防昌公面管理室

全計区分 一般合計 計画区分 一般事業 404 戦略区分

【争務争業】 20	01001	涓 奶団 沽 野争耒			γ	fl 的 局 征	画官埋至	<u> </u>	会計区分	一般会計	計画区分	一般爭美	404 戦略区:	立 —
【目的】		【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
消防団活動を円滑にするた 運営の支援をする	きめ	活性化施策に対する改善	改善数/活性化委員会決定事項	100	100	100	100	100	計画額	82,944	89,170	85,231	85,649	86,053
運営の支援をする		率(%)		100	100	100	100	100	(一般財源)	70,031	76,584	73,425	73,843	74,349
									予算額	82,944	89,170	85,231	86,053	86,084
		i.			0	0	0	0	(一般財源)	70,031	76,584	73,425	74,349	74,380
		U		0	0	0	0	0	決算額	86,027	79,921	77,720	83,758	77,205
	į			0	0	0	0	0	職員数	0.76	0.76	0.76	0.76	0.76
									単位)事業	養:千円	職員数:人			
	!	()		0	0	0	0	0		団員報酬				
【対象】				0	0	0	0	0	交際 消防	質 団交付金				
被災者				【指標	直】上段:	予算目標	票 下段:	実績	火災 消防	出動等費用弁 団退職報償費				
									消防	団管理業務				

【定量分析】:課題・現状分析

消防団活動を円滑に進めるために運営の支援を有効的かつ効果的に出来た。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

消防団員の確保と活性化を図り、地域防災を担うべく、その活動の支援を有効的かつ効果的に 出来た。今後についても現状を維持して行く。

干队20干及 第2														
【政策】		市民を火災から守る				施策】		火災に	こよる被害を軽減	はする				
		地域に密着した消防団			-	旦当課:	6001000							
【事務事業】 2010	002	消防団施設維持管理	事業		消	当防局企i	画管理室		会計区分	一般会計	計画区分 -	一般事業	404 戦略区2	分 —
【目的】	[【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
地域防災拠点施設としての充	5 b	施設維持管理率(%)	維持管理数/施設数	100	100	100	100	100	計画額	2,115	565	548	548	453
実強化を図る			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	100	100	100	100	100	(一般財源)	2,115	565	548	548	453
									予算額	2,115	565	548	453	786
	(()	`	0	0	0	0	0	(一般財源)	2,115	565	548	453	786
				0	0	0	0	0	決算額 職員数	738 0	236 0	501 0	755 0	778
									収貝奴 単位)事業	_	職員数:人	U	U	(
	(······································	: :	0	0	0	0	0	【業務】 消防せ	アンターの維持	寺管理を行う			
【対象】	ľ	,		0	0	0	0	0						
被災者			1 1 1 1 1 1 1 1	【指煙位	i】⊢段·	予質日超	票 下段:	主結						
			! !	K) H I I I I	=1-+x.	1 11 11 17	ж I Р Х	人们						
【基本事務事業】 2	20	市民を火災から守る 地域に密着した消防団	 が街を守る 浦償等共済基金負担金		担	施策】 追当課 : 肖防局企	3 6001000 画管理室		こよる被害を軽減 会計区分		計画区分 -	一般事業	404 戦略区	分 —
【基本事務事業】 2 【 事務事業 】 2010	20 2010 003	市民を火災から守る 地域に密着した消防団 消防団員等公務災害	補償等共済基金負担金	[H15]	担	旦当課:	6001000		会計区分	一般会計				
【基本事務事業】 2 【 事務事業】 201 0 【目的】	20 2010 003	市民を火災から守る 地域に密着した消防団	補償等共済基金負担金 【指標概要】		担消	旦当課 : 肖防局企同	6001000 画管理室	[H19]			計画区分 - [H16] 13,218	一般事業 [H17] 13,851	404 戦略区 [H18] 13,851	分 — [H1 9] 13,898
【基本事務事業】 2 【 事務事業】 201 0 【目的】	20 2010 003	市民を火災から守る 地域に密着した消防団 消 防団員等公務災害 【指標】	補償等共済基金負担金	[H15]	担 注 [H16]	旦当課 : 肖防局企[[H17]	6001000 画管理室 [H18]	[H19] 100	会計区分	一般会計 [H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
【基本事務事業】 2 【 事務事業】 201 0 【目的】	20 2010 003	市民を火災から守る 地域に密着した消防団 消 防団員等公務災害 【指標】	補償等共済基金負担金 【指標概要】	100	排 [H16] 100	旦当課 : 肖防局企[[H17] 100	6001000 画管理室 [H18] 100	[H19] 100	会計区分 【事業費】 計画額	一般会計 [H15] 13,218	[H16] 13,218	[H17] 13,851	[H18] 13,851	[H19] 13,898
【基本事務事業】 2 【事務事業】 2016 【目的】	20 2010 003	市民を火災から守る 地域に密着した消防団 消 防団員等公務災害 【指標】	補償等共済基金負担金 【指標概要】	100 100	担 消 [H16] 100 100	担 当課 : 当防局企 [H17] 100 100	6001000 画管理室 [H18] 100 100	[H19] 100	会計区分 【事業費】 計画額 (一般財源) 予算額 (一般財源)	一般会計 [H15] 13,218 13,218	[H16] 13,218 <i>13,218</i>	[H17] 13,851 <i>13,851</i>	[H18] 13,851 <i>13,851</i>	[H19] 13,898 <i>13,898</i>
【基本事務事業】 2 【事務事業】 2016 【目的】	20 2010 003	市民を火災から守る 地域に密着した消防団 消 防団員等公務災害 【指標】	補償等共済基金負担金 【指標概要】	100	排 [H16] 100	旦当課 : 肖防局企[[H17] 100	6001000 画管理室 [H18] 100	[H19] 100 100	会計区分 【事業費】 計画額 (一般財源) 予算額 (一般財源) 決算額	一般会計 [H15] 13,218 13,218 13,218 13,218 13,218	[H16] 13,218 13,218 13,218 13,218 13,851	[H17] 13,851 13,851 13,851 13,851 13,851	[H18] 13,851 13,851 13,898 13,898 13,878	[H19] 13,898 13,898 13,878 13,878 15,159
【基本事務事業】 2 【事務事業】 2016 【目的】	20 2010 003	市民を火災から守る 地域に密着した消防団 消 防団員等公務災害 【指標】	補償等共済基金負担金 【指標概要】	100 100	担 作 [H16] 100 100	担当課 : 肖防局企 [H17] 100 100	6001000 画管理室 [H18] 100 100	[H19] 100 100	会計区分 【事業費】 計画額 (一般財源) 予算額 (一般財源) 決算額 職員数	一般会計 [H15] 13,218 13,218 13,218 13,218 13,218 15,79	[H16] 13,218 13,218 13,218 13,218 13,851 15.79	[H17] 13,851 <i>13,851</i> 13,851 <i>13,851</i>	[H18] 13,851 <i>13,851</i> 13,898 <i>13,898</i>	[H19] 13,898 <i>13,898</i> 13,878
【基本事務事業】 2 【事務事業】 2016 【目的】	20 2010 003	市民を火災から守る 地域に密着した消防団 消 防団員等公務災害 【指標】	補償等共済基金負担金 【指標概要】	100 100 0	担 作 16] 100 100 0	型 当課 : 肖防局企 [H17] 100 100 0 0	6001000 画管理室 [H18] 100 100 0 0	[H19] 100 100	会計区分 【事業費】 計画額 (一般財源) 予算額 (一般財源) 決算額 職員数 単位) 事業	一般会計 [H15] 13,218 13,218 13,218 13,218 13,218 15,79	[H16] 13,218 13,218 13,218 13,218 13,851	[H17] 13,851 13,851 13,851 13,851 13,851	[H18] 13,851 13,851 13,898 13,898 13,878	[H19] 13,898 13,898 13,878 13,878 15,159
【基本事務事業】 2 【事務事業】 2010 【目的】 被災者の救済、退職団員の報償	20 2010 003	市民を火災から守る 地域に密着した消防団 消 防団員等公務災害 【指標】	補償等共済基金負担金 【指標概要】	100 100 0 0	担 作 [H16] 100 100 0 0	型当課: 当防局企 [H17] 100 100 0 0	6001000 画管理室 [H18] 100 100 0 0	[H19] 100 100 0	会計区分 【事業費】 計画額 (一般財源) 予算額 (一般財源) 決算額 職員数 単位) 事業 【業務】	一般会計 [H15] 13,218 13,218 13,218 13,218 13,218 15,79	[H16] 13,218 13,218 13,218 13,218 13,851 15.79	[H17] 13,851 13,851 13,851 13,851 13,851	[H18] 13,851 13,851 13,898 13,898 13,878	[H19] 13,898 13,898 13,878 13,878 15,159
【基本事務事業】 2 【事務事業】 2010 【目的】 被災者の救済、退職団員の報 償	20 2010 003	市民を火災から守る 地域に密着した消防団 消 防団員等公務災害 【指標】	補償等共済基金負担金 【指標概要】	100 100 0 0	排 作 [H16] 100 100 0 0 0	3 当課: 当防局企 [H17] 100 100 0 0	6001000 画管理室 [H18] 100 100 0 0	[H19] 100 100 0 0 0 0	会計区分 【事業費】 計画額 (一般財源) 予算額 (一般財源) 決算額 職員数 単位) 事業 【業務】	一般会計 [H15] 13,218 13,218 13,218 13,218 13,218 15,79	[H16] 13,218 13,218 13,218 13,218 13,851 15.79	[H17] 13,851 13,851 13,851 13,851 13,851	[H18] 13,851 13,851 13,898 13,898 13,878	[H19] 13,898 13,898 13,878 13,878 15,159
【基本事務事業】 2 【事務事業】 2010 【目的】 被災者の救済、退職団員の報 償	20 2010 003	市民を火災から守る 地域に密着した消防団 消 防団員等公務災害 【指標】	補償等共済基金負担金 【指標概要】	100 100 0 0	排 作 [H16] 100 100 0 0 0	3 当課: 当防局企 [H17] 100 100 0 0	6001000 画管理室 [H18] 100 100 0 0	[H19] 100 100 0 0 0 0	会計区分 【事業費】 計画額 (一般財源) 予算額 (一般財源) 決算額 職員数 単位) 事業 【業務】	一般会計 [H15] 13,218 13,218 13,218 13,218 13,218 15,79	[H16] 13,218 13,218 13,218 13,218 13,851 15.79	[H17] 13,851 13,851 13,851 13,851 13,851	[H18] 13,851 13,851 13,898 13,898 13,878	[H19] 13,898 13,898 13,878 13,878 15,159
	20 2010 003	市民を火災から守る 地域に密着した消防団 消防団員等公務災害者 (指標】 災害補償執行率(%)	甫僕等共済基金負担金 【指標概要】 適正な執行/公務災害発生数	100 100 0 0	排 作 [H16] 100 100 0 0 0	3 当課: 当防局企 [H17] 100 100 0 0	6001000 画管理室 [H18] 100 100 0 0	[H19] 100 100 0 0	会計区分 【事業費】 計画額 (一般財源) 予算額 (一般財源) 決算額 職員数 単位) 事業 【業務】	一般会計 [H15] 13,218 13,218 13,218 13,218 15,79 費:千円	[H16] 13,218 13,218 13,218 13,218 13,851 15.79 職員数:人	[H17] 13,851 13,851 13,851 13,851 13,851 15.79	[H18] 13,851 13,851 13,898 13,898 13,878 15.79	[H19] 13,898 13,898 13,878 13,878 15,159
【基本事務事業】 2 【事務事業】 2010 【目的】 被災者の救済、退職団員の報償	20 2010 003 【 【	市民を火災から守る 地域に密着した消防団 消 防団員等公務災害 【指標】	補償等共済基金負担金 【指標概要】 適正な執行/公務災害発生数	100 100 0 0	排 作 [H16] 100 100 0 0 0	3 当課: 当防局企 [H17] 100 100 0 0	6001000 画管理室 [H18] 100 100 0 0	[H19] 100 100 0 0 更実績	会計区分 【事業費】 計画額 (一般財源) 予算額 (一般財源) 決算額 職員数 単位) 事業 【業務】	一般会計 [H15] 13,218 13,218 13,218 13,218 15.79 費:千円	[H16] 13,218 13,218 13,218 13,218 13,851 15.79 職員数:人	[H17] 13,851 13,851 13,851 13,851 15,79	[H18] 13,851 13,851 13,898 13,898 13,878 15.79	[H19] 13,898 13,898 13,878 13,878 15,159